

後期

06.02.17

2024（令和6）年度

人間教育専攻グローバル教育コース

日本語教育・日本文化分野

試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙1枚，問題用紙1枚，解答用紙2枚あるかどうかを確認のこと。
2. すべての問題に解答すること。
3. すべての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
4. 解答は，解答用紙の枠内に記入すること。
5. 試験終了後は解答用紙のみを回収するので，解答用紙以外は持ち帰ること。

人間教育専攻グローバル教育コース

日本語教育・日本文化分野

試験問題

問題用紙全1枚

問題 1 次の(ア)～(エ)の四つの語句の中から二つを選び、それぞれ説明しなさい。選択した語句は、その記号を解答用紙に記すこと。

(ア) BICS (Basic interpersonal communicative skills) と CALP (Cognitive academic language proficiency)

(イ) ポライトネス

(ウ) 格助詞

(エ) ミニマル・ペア

問題 2 次の二つの問いに答えなさい。

① 「必ず」と「是非」の違いについて、具体例を挙げて説明しなさい。

② 「タスク中心の指導法 (TBLT: Task-based language teaching)」について、知るところを述べなさい。

問題 3 日本語初級後半レベルの学習者に対する会話の授業で、ペアごとにロール・プレイを行います。この授業の目標は「丁寧に依頼することができる」と「丁寧に断ることができる」とします。学習者Aを「依頼する人」、学習者Bを「断る人」として設定し、それぞれに対する指示内容が書かれたロール・カードを作成しなさい。また、作成したロール・カードについて、どのような意図で作成したのかを説明しなさい。